



〈自分（たち）でつくるみんなの学校～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子



学校だより 令和4年度No.1

創校140周年の歴史の中でさらなる発展を！「日本一美しい学校」づくり
校長 佐野 正人

桜満開の時期も過ぎ、今はチューリップや水仙がいたる所で咲いています。夜が明けるのも日々早くなり、季節の移り変わりがとても早く感じます。

本校では、55名の新入生を迎え、全児童数264名でのスタートを切りました。子供たちは、コロナ禍にも負けずマスクを着用し、新しい学年での学習を頑張っています。

現在も各家庭、地域におかれましては、油断することなく、新型コロナウイルス感染防止に努めておられることと思います。そんな中ではありますが、先日は2年ぶりにPTA総会が行われました。少しずつではありますが、感染対策をしっかりと考えての行事等ができるようになってきました。

学校としても、できること、できないことを明確にしなが、子供たちが元気に、やる気をもって勉強や運動に取り組めるよう工夫していきたいと考えています。

そこで、今年度も子どもたちに育成する資質・能力を明確にし、教育活動の重点目標を、次のようにしました。

地域や環境、人とのつながりを大切にし、進んで活動する子供の育成

かしこく	主体的・協働的に学ぶ態度と話す・聞く・表現する力の育成
つよく	健康や安全への関心を高め、何事にも粘り強く取り組む意欲の育成
美しく	互いを認め合い、思いやり、協力する心の育成

昨年度まで取り組んだ特別支援教育の研究を生かし、E S D・S D G s 教育を柱として、教育活動に取り組んでまいります。

また、今年度は創校140周年を迎えることとなります。これまでの歴史を振り返りながら、子供たちには、お祝いの記念行事等通じて、より一層学校への愛着が増すことを期待しています。そして、「自分で、自分たちでつくるみんなの学校」「日本一美しい学校」とは何かを考えさせながら、さらなる発展を目指していきたいと思ひます。

早速ですが、140周年の記念事業として、実行委員会の方々、地域の方々のご厚意により、春休み中に学校農園（畑）を新しく整備していただきました。また、先日は、PTA役員の方々と本校教員が協力して、朝早くから学校花壇や畑の土作りを行いました。

皆さんのお気持ちやご協力に感謝し、畑として早く活用できるよう、私自身、各学年の畝（うね）を汗を流しながら作っていると、その様子を見た子供たちが次々に「校長先生、ありがとうございます。」と声をかけてくれました。作業の疲れや汗も吹き飛び、元気になりました。そして、ふと、この温かい声かけについて考えてみました。これらの子供たちの言葉は、先生方の日頃の言動を見て学んだものかな、（先生方はよく互いの行動に、感謝の声かけを行う素晴らしい集団です）地域で育ててもらった感謝の気持ちかな、親の姿を見て身に付けた気付く心かなと、いろいろ考えを巡らせました。

きっと「いのち」を育てる活動を通して、花や野菜の成長とともに、子供たち自身が優しい心を育て「日本一美しい心の花」を咲かせてくれることでしょう。だって140年という土壌があるのですから・・・・

